

おおたの未来づくり 単元計画シート

小池小

単元名	大田区を救え！～失われた200億円～（第6学年）		
内容	A ものづくり（ア）	総時間数	17
目標	<p>○これからの大田区に必要なことや大切にしていることを考えるために必要な知識及び技能を身に付ける。</p> <p>○大田区のふるさと納税の返礼品を提案する必要な情報を収集・整理・分析しながら、提案することができる。</p> <p>○大田区に愛着をもち、自分や他者のよさを生かしながらアイデアの創出に主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区や雪谷法人会の方々の願いを通して、大田区の魅力を発信するためのポイントやアイデア等への理解を深める。 ・ふるさと納税の取組を通して、持続可能な大田区の税収についての情報を収集・分析しコンセプトを設定する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・雪谷法人会 ・タブレット端末
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の新たな返礼品に必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・どのような返礼品になるのか、デザインや値段を考え、自分たちが考えた返礼品のプレゼンテーションをつくる ・雪谷法人会の方からのコメントを受け止めて、協働的にデザインの改善や情報収集に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・雪谷法人会 ・タブレット端末
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインした返礼品をプレゼンテーションにしてまとめ、わかりやすく伝えるために必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・グループ間での協議を通して得た情報を基に、試行錯誤してプレゼンテーションをまとめたり、提案方法を工夫して発信したりする。 ・「新たな大田区の返礼品」の提案に向けた準備に自他のよさを生かして役割を分担するなど協働的に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・雪谷法人会 ・タブレット端末
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 		3
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。□ 		2
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。 		2
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。 		1
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 		1
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。 		8